

学校関係者評価委員会 議事録

※令和3年度 浦和学院専門学校の学校関係者評価となります。

1. 開催日時：令和4年6月7日（火）10：00～11：00

2. 出席者：【学校法人明星学園 国際医療専門学校 学校関係者評価委員会】

副委員長 上山 悦代 （元浦和学院専門学校 副校長代理）

委員 小袋 伸枝 （浦和学院高等学校 副校長）

委員 石井 悠太 （本校卒業生）

書面出席：委員 城戸 秀美 （埼玉精神神経センター 看護部長）

委員 関 彩嘉 （本校卒業生、国立病院機構埼玉病院 看護師）

【学校法人明星学園 国際医療専門学校 自己評価委員会】

委員長 遠藤 貞子 （学校長）

副委員長 中安 ゆかり （看護学科 学科長）

委員 津坂 美保 （実習調整者）

委員 遠山 卓 （事務次長）

委員 関根 美央 （教務事務主任）

委員 塩田 雅子 （事務主任）

【臨床検査学科】

副校長 石橋 佳朋

学科長 安田 富子

事務長 渡邊 展良

事務室長 渡部 絵美 （書記担当）

3. 開催場所：国際医療専門学校 2号館 2階セミナー室

以下の出席者は、Web会議システム「Zoom ミーティング」により参加した。

委員 小袋 伸枝 （浦和学院高等学校 職員室）

4. 議事次第： 1) 校長挨拶及び会議成立について

2) 学校関係者評価委員会副委員長挨拶

3) 教職員紹介

4) 令和3年度自己点検自己評価実施内容の結果報告（資料添付）

5) 質疑応答

6) 学校関係者評価委員長の評価報告について

- 7) 学校関係者評価委員からの評価について
- 8) 臨床検査学科 自己点検結果（旧学校）の報告について
- 9) 総括

5. 配布資料：令和3年度自己評価報告書（事前配布）

6. 議事内容

1) 校長挨拶及び会議成立について

遠藤校長より出席された委員の皆様への御礼とともに過半数にあたる学校関係者委員の出席により、委員会の成立を宣言した。

2) 学校関係者評価委員会副委員長挨拶

上山副委員長より本年実施された第111回看護師国家試験の全員合格とともに2年連続国家試験全員合格を達成できたことは、教職員の尽力の賜物であるとの評価をいただいた。校長の就任以来、学校では令和4年度より実施される看護師養成のカリキュラム改正に向け準備されてきたと思うが、領域横断を取り入れた独創的なカリキュラムが完成したことは、大きな改革といえる。さらには、今年度より看護学科の定員増と臨床検査学科の新設により、学校が発展していくことを期待している。

3) 教職員紹介

司会の渡邊事務長より教職員の紹介を行った。

4) 令和3年度自己点検自己評価実施内容の結果報告（資料添付）

遠藤校長・中安学科長・遠山事務次長から〔I.学校経営〕〔II.教育課程・教育活動〕〔III.入学・卒業対策〕〔IV.学生生活への支援〕〔V.管理運営・財政〕〔VI.施設設備〕〔VII.教職員の育成〕〔VIII.広報・地域活動〕の8つの自己評価項目の結果についての報告を行った。

〔IV. 学生生活への支援〕以外の全ての項目で前年度の評価を上回った。

5) 質疑応答

令和3年度の退学率5%の理由について質問があり、中安学科長より進路変更や経済的事情等であると回答した。

6) 学校関係者評価委員長の評価報告について

書面出席となった城戸委員長の関係者評価について、遠藤校長より報告がなされた。評価は次のとおりである。

- (1) 学校関係者評価の実施及びホームページへの公表は評価に値し、今後も継続して次

年度の目標や改善計画へとつなげてほしい。

(2) 2年連続の国家試験合格100%を達成できたことを嬉しく思う。引き続き入学者の確保に努めてほしい。

(3) コロナ禍において心身のストレスが高まっており、今後も学生全員がカウンセラーと面談することが継続できるようにしてほしい。

(4) 学生個々に守秘義務等情報管理の継続指導をお願いしたい。

7) 学校関係者評価委員からの評価について

副委員長ならびにその他委員による評価は次のとおりである。

【全体評価】

- ・ 1項目（学生生活への支援）を除いたすべての項目においてポイントが上がっていたことは素晴らしい。

【項目評価】

II. 教育課程・教育活動

- ・ コロナ禍において実習ができないことについての現場の苦労も多いと思う。

III. 入学・卒業対策

- ・ 2年連続の国家試験合格100%は大変素晴らしい。
- ・ 退学者を減少させるように努めてほしい。
- ・ 同窓会を活用して卒業生の動向調査を実施したらどうか。
- ・ 母校のために卒業生が協力的であることは素晴らしい。学校での教育活動が実ってきていると実感している。
- ・ 細部にわたりICT化が進んでいることを評価したい。
- ・ 看護師国家試験の出題範囲は、1学年で学習する内容が大半を占める。そのため、学習内容の定着が重要である。一例だが、上級生による1年生への指導を行う機会を作ることにより定着が促進するのではないかと考える。

IV. 学生生活への支援

- ・ 臨床検査学科が新設されたので、これからは両学科の学生が交流し、授業においても協力がなされることを期待したい。

V. 管理運営・財政

- ・ 在学中の学生はSNSとともに育ってきた世代であるため、不特定多数に対する発信に関するハードルが低い。そのため、SNSについては継続的な指導が必要である。

VI. 施設設備

- ・施設設備の整備は10年のように長期的な計画を立てて実施していくとよい。
- ・教材や教具は、十分活用しうるものを選んでほしい。

VII. 教職員の育成

- ・学会発表など教員の研究活動が活発になることを期待したい。

VIII. 広報・地域活動

- ・同学園の高校との交流（高校保健医療クラスに対する看護技術体験実習、式典での高校吹奏楽部の生演奏）は、広報・地域活動に取り組んでいるとして評価できる。
- ・海外姉妹校との教育交流が盛んになることを期待したい。

8) 臨床検査学科 自己点検結果（旧学校）の報告について

石橋副校長より統合前の旧東武医学技術専門学校の2021年度自己点検結果について報告がなされた。

9) 総括

遠藤校長より、昨年度の評価において、1項目を除き全般においてポイントが高かったことは、教職員が問題意識をもって取り組み、努力した結果であるとの話があった。今年度は学校統合後の教育活動や学生支援の充実、学生確保といった複数課題に向けて教職員が一丸となって取り組んでいく。

以上
文責 渡部